



複製状況 API

この章では、複製状況 API およびこの API によって実行される servlet 動作について説明します。複製状況 API は、チャンネル、Content Engine、またはコンテンツのリストを返し、指定されたチャンネルのコンテンツの複製が完了したかどうかをチャンネルごとに示します。

複製状況 API の動作

複製状況 API は、ReplicationStatusApiServlet と記述します。

構文

`https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet...`

この servlet は、次の動作の 1 つまたは複数を実行します。

- [getChannels](#)
- [getCEsOfChannel](#)
- [getChannelsOfCE](#)
- [getReplicatedContent](#)
- [getNonReplicatedContent](#)
- [getContent](#)
- [getStatusOfContentItems](#)
- [getStatusOfContentItemInChannel](#)

getChannels

指定されたチャンネルのコンテンツの複製状況を取得します。

パラメータ

チャンネル ID のリストまたはキーワード **all** のいずれかが必須です。

結果

チャンネルのリスト、およびチャンネルごとに、指定のチャンネルの複製が完全か不完全かを示すフラグ

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getChannels&channel=[all | <channel_ID>,<channel_ID>,...]
```

getCEsOfChannel

指定されたチャンネルに割り当てられているすべての Content Engine のコンテンツの複製状況を取得します。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- Refetch (再取得) (任意) — デフォルトは false です。

再取得を true に設定した場合、新たに更新された状況を取得するためのバックグラウンド要求が、このチャンネルに割り当てられたすべての Content Engine に送信されます。新たに利用可能となった情報を表示するには、再取得を数分間停止したあとで、再度 API を呼び出す必要があります。

結果

指定のチャンネルに割り当てられた Content Engine のリスト、および Content Engine ごとに、指定の Content Engine の複製が完全か不完全かを示すフラグ

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getCEsOfChannel&channel=<channel_ID>[&refetch=<true | false>]
```

getChannelsOfCE

指定の Content Engine に割り当てられたすべてのチャンネルのコンテンツの複製状況を取得します。

パラメータ

- Content Engine ID (必須)
- Refetch (再取得) (任意) — デフォルトは false です。

再取得を true に設定した場合、新たに更新された状況を取得するためのバックグラウンド要求が、このチャンネルに割り当てられたすべての Content Engine に送信されます。新たに利用可能となった情報を表示するには、再取得を数分間停止したあとで、再度 API を呼び出す必要があります。

結果

指定の Content Engine に割り当てられた Content Engine のリスト、および指定の Content Engine の複製が完全か不完全かを Content Engine ごとに示すフラグ

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getChannelsOfCE&ce=<CE_ID>[&refetch=<true | false>]
```

getReplicatedContent

検索基準とは関係なく、指定のチャンネル上の指定の Content Engine の複製アイテムをすべてリスト表示します。

パラメータ

- Content Engine ID (必須)
- チャンネル ID (必須)
- 検索基準 (任意)
コンテンツ名またはパターンが複数ある場合は、カンマで区切る必要があります。パターンには、*または? (ワイルドカード) を含めることができます。
- Refetch (再取得) (任意) — デフォルトは false です。
再取得を true に設定した場合は、バックグラウンドでコンテンツを取得する要求が発行されます。更新された情報は Content Distribution Manager にキャッシングされ、次のコールで取得することができます。

結果

検索基準を指定した場合、検索基準に一致する指定のチャンネルの指定の Content Engine 上の、すべての複製済みコンテンツ アイテムのリスト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getReplicatedContent&ce=<CE_ID>&channel=<channel_ID>[&criteria=<criteria>][&refetch=<true | false>]
```

getNonReplicatedContent

検索基準とは関係なく、指定のチャンネル上の指定の Content Engine の非複製アイテムをすべてリスト表示します。

パラメータ

- Content Engine ID (必須)
- チャンネル ID (必須)
- 検索基準 (任意)
コンテンツ名またはパターンが複数ある場合は、カンマで区切る必要があります。パターンには、*または? (ワイルドカード) を含めることができます。
- Refetch (再取得) (任意) — デフォルトは false です。
再取得を true に設定した場合は、バックグラウンドでコンテンツを取得する要求が発行されます。更新された情報は Content Distribution Manager にキャッシングされ、次のコールで取得することができます。

結果

検索基準を指定した場合、検索基準に一致する指定のチャンネルの指定の Content Engine 上の、すべての非複製コンテンツ アイテムのリストこのリストには、複製プロセスの過程でまだ複製されていないコンテンツ アイテム、または複製に失敗したアイテムもが含まれます。

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getNonReplicatedContent&ce=<CE_ID>&channel=<channel_ID>[&criteria=<criteria>][&refetch=<true | false>]
```

getContent

検索基準とは関係なく、指定のチャンネル上の指定の Content Engine のコンテンツ アイテムをすべてリスト表示します。

パラメータ

- Content Engine ID (必須)
- チャンネル ID (必須)
- 検索基準 (任意)
コンテンツ名またはパターンが 1 つまたは複数ある場合は、カンマで区切る必要があります。パターンには、*または? (ワイルドカード) を含めることができます。
- Refetch (再取得) (任意) — デフォルトは false です。
再取得を true に設定した場合は、バックグラウンドでコンテンツを取得する要求が発行されます。更新された情報は Content Distribution Manager にキャッシングされ、次のコールで取得することができます。

結果

検索基準を指定した場合、検索基準に一致する指定のチャンネルの指定の Content Engine 上の、すべてのコンテンツ アイテムのリスト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getContent&ce=<CE_ID>&channel=<channel_ID>[&criteria=<criteria>][&refetch=<true | false>]
```

getStatusOfContentItems

検索基準とは関係なく、チャンネルに割り当てられているすべての Content Engine 内のコンテンツ アイテムをリスト表示します。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- 検索基準 (任意)
コンテンツ名またはパターンが 1 つまたは複数ある場合は、カンマで区切る必要があります。パターンには、*または? (ワイルドカード) を含めることができます。
- Refetch (再取得) (任意) — デフォルトは false です。
再取得を true に設定した場合は、バックグラウンドでコンテンツを取得する要求が発行されます。更新された情報は Content Distribution Manager にキャッシングされ、次のコールで取得することができます。



(注) 再取得を true に設定すると、新しい情報を取得するために、チャンネルに割り当てられた Content Engine に要求が送られます。これはプロセッサへの負荷が大きい操作です。

結果

チャンネル内のすべてのコンテンツ アイテムと Content Engine 全体におけるそれらの状況のリスト。または、検索基準が指定されている場合は、指定の基準に一致するコンテンツ アイテムと Content Engine 全体におけるそれらの状況のリスト

構文

```
https://<cdmIpAddress>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getStatusOfContentItems&channel=<Channel_ID>[&criteria=<criteria>][&refetch=<true | false>]
```

getStatusOfContentItemInChannel

チャンネルに割り当てられているすべての Content Engine の指定のコンテンツ アイテムの状況をリスト表示します。

パラメータ

- チャンネル ID (必須)
- コンテンツ アイテムの完全な URL (必須)

結果

チャンネルに割り当てられているすべての Content Engine の指定のコンテンツ アイテムの状況



(注) この動作は [getStatusOfContentItems](#) のあとで呼び出す必要があります。そうしないと、予想外の出力結果になる場合があります。URL は、[getStatusOfContentItems](#) 動作の出力にリスト表示されている URL でなければなりません。

構文

```
https://<cdmIpAddr>:8443/servlet/com.cisco.unicorn.ui.RepStatusApiServlet?action=getStatusOfContentItemInChannel&channel=<Channel_ID>&criteria=<complete URL of the channel content item>
```

